

Q1. 毎年、当社サービス（自社開発ソフトウェア）に対してシステム開発投資を行っており、今期については主に顧客からの要望対応や機能強化が当該サービス開発の主目的になる、との事ですが、現時点で顧客満足度をどの程度適えたサービスとなっているのか、自己採点して教えてください。

A1. 当社サービスを自己採点するのは難しいと考えますが、顧客満足度を全て満たしたものが満点である、と仮定いたしますと、現在の当社サービスは90点である、と自負しております。

但し、当社が考えるサービス提供に関する高い理想の姿を満点とするならば、現状はまだ7割程度しか満たしていない、と考えております。この当社が考える理想の姿というのは、ユーザーである不動産業者が当社システムの操作を行った瞬間にストレス無く使用することが出来て、かつ、ユーザーがマニュアルを見なくても当社システムを操作・利用していくことができる、という状態のことです。

この点、現状はパフォーマンスについて、ユーザーが不満に感じる程ではないものの、まだまだ改善の余地があり、実操作についてもマニュアルやサポートが必要となる場面がございます。これは当社サービスが4,000項目超の多様な情報を格納できるデータベースから構成されているためであり、かつ、入出金などの重要情報まで格納できることに起因しておりますが、当社システム操作に当たってのスピードやマニュアル不要のより分かりやすいユーザーインターフェイスに改善していくことが、直近のサービス開発における課題であり、これを解決していくことで新規顧客開拓に弾みがつくものと考えております。

Q2. 当社サービス（ソフトウェア）を含め、毎年約3億6,000万円から約4億円の投資を行っている、との事ですが、2017年3月期と2018年3月期における主な設備投資の内訳を教えてください。

A2. 2017年3月期は総額4億5,800万円のうち、約3億4,400万円が当社サービス（社内システム含む）の資産開発に関する自社開発ソフトウェア投資であります。次に当社システム基盤となるサーバ設備等（ハードウェア）をリース取引にて約3,500万円調達し、システム基盤に係るライセンスについても今期はリース取引で約5,600万円調達しております。

また、2018年3月期は総額4億2,800万円のうち、約3億6,600万円が当社サービスの資産開発に関する自社開発ソフトウェア投資であり、リース取引によって当社システム基盤となるサーバ設備等のハードウェア入替に対して合計約5,100万円の投資を計画しております。

（参考：2017年3月期通期決算説明会資料の26ページ目）

（注）当日の回答に加え、正確性を期すために一部補筆しております。

以上